

「子育てサロンin若松高校」が行われました。

平成26年5月30日（金曜日）に「子育てサロンin若松高校」が行われました。

この事業は、乳幼児とのふれあいを通して、子育ての楽しさや子どもの成長について、高校生が体験的に学ぶことを目的にしています。

2年生の「家庭基礎」の保育分野の学習の一環として、平成24年度から行われており、若松高校及び千葉市社会福祉協議会の若葉区事務所、同若松地区部会の3者の共催で、6月25日（水曜日）までに、全8回、2年生全てのクラスで行われます。

今年度2回目のこの日は、2年G組（生徒数40名）が、若松高校内のセミナーハウス松栄館に母子34名を招いて、活動を行いました。



最初に、この日のために練習してきた「体操」を披露しました。参加した母子に笑みがこぼれました。



「プレイタイム」です。高校生と乳幼児のふれあいが始まりました。



手作りおもちゃで、いっしょに遊びました。最初は緊張していた高校生たちの表情が、しだいに柔らかくなってきます。



「赤ちゃん抱っこタイム」です。ほとんどの高校生にとっては初めての経験でしたが、なかなか様になっていました。



「高校生から親御さんにインタビュータイム」です。お母さん方に子育ての喜びや苦労を取材しました。



6つのグループに分かれ、高校生とお母さん方が、感想やお礼を一人一人発表しました。